

第69回塑性加工連合講演会 「テーマセッション」のご案内

第69回塑性加工連合講演会(平成30年10月27日(土)~28日(日),熊本市、熊本大学)において,下記の5件のテーマセッションを開催いたします。奮ってご応募下さい。ご不明の点につきましては,各セッションのオーガナイザーまでお問合せください。

テーマセッションの特徴は以下の通りです。

- (1) 一般講演とは区別してプログラムを組みます。
- (2) 特定のテーマに関する講演を広く公募します。
- (3) 公募論文の取捨選択や討論時間などの運営方法はオーガナイザーに一任します。(採択されなかった場合には一般講演に回っていただきますのでご了承ください。)

記

申込方法 学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。

講演申込用ホームページアドレス 6月初旬に掲載予定

申込締切日 平成30年7月3日(火)

テーマセッション1「熱間鍛造技術の最前線」

オーガナイザー:北村憲彦(名工大),吉田佳典(岐阜大),松本良(大阪大)

協力:鍛造分科会〔主査:北村憲彦〕

問合せ先:吉田佳典(岐阜大),E-mail:yyoshida@gifu-u.ac.jp

現在、「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的構造材料」をはじめとする、航空機および自動車部材に関する大型国家プロジェクトが活動しており、鍛造技術の革新が期待されている。本セッションでは熱間鍛造技術に関わる全ての研究事例について、プロセス、シミュレーション、トライボロジーおよび材料試験まで広く対象とし、情報共有ならびに今後を展望する。

テーマセッション2「バックキャスト思考でポーラス金属の未来を語ろう！」

オーガナイザー:北園幸一(首都大学東京),久米裕二(山形大),小橋眞(名大)

協力:ポーラス材料分科会〔主査:馬淵守〕

問合せ先:小橋眞(名大),E-mail:kobashi.makoto@material.nagoya-u.ac.jp

バックキャスト思考は、理想の未来を実現するために必要なアクションを設定し、実行に移していく思考方法です。今回は、ポーラス金属が、将来どのように使われるだろうかということに参加者が創造できるようなセッションを行います。難しいことではありません。5年後、10年後にポーラス金属がどこでどのように役立っているかを想像し、その実現に課題をイントロダクションで示していただければ十分です。皆で未来を想像・創造しませんか! (積層造形によるラティス構造体に関する発表も歓迎します)

テーマセッション3「衝撃塑性加工応用へのチャレンジ」

オーガナイザー:森昭寿(崇城大),山下実(岐阜大),岡川啓悟(都産技高専)

協力:高エネルギー速度加工分科会〔主査:長谷部忠司〕

問合せ先:森昭寿(崇城大),E-mail:makihisa@mec.sojo-u.ac.jp

高速変形状態下で行われる衝撃塑性加工技術は、異材接合、超精密成形など特徴的な加工を可能にする技術である。本テーマセッションでは、いくつかの異なるエネルギー源を用いた研究成果を持ち寄って、関連する最先端の成果を発表・討論することを通じ、新しい応用技術開発へのチャレンジの現状や将来展望を明らかにすることを狙って企画した。

テーマセッション4「板・バルク材の成形シミュレーションの最前線」

オーガナイザー:瀧澤英男(日本工大),金英俊(アマダ),吉田健吾(静岡大),

協力:プロセッシング計算力学分科会〔主査:小森和武〕

問合せ先:吉田健吾(静岡大),E-mail:yoshida.kengo@shizuoka.ac.jp

有限要素シミュレーションを用いた成形予測ならびに成形プロセスの最適化は必須の技術となっている。精度の良いシミュレーションを実現するには、適切な解析手法、解析条件を用いる必要がある。本テーマセッションでは、有限要素シミュレーションの解析精度に影響を及ぼす様々な因子(例えば、有限要素、摩擦則、材料構成則、金型の変形、加工発熱、熱伝導、組織変化)に関する最新の研究成果について講演頂き、今後の研究課題について議論する機会としたい。

テーマセッション5「14th INTERNATIONAL SESSION 2018」

Organizer: Susumu Takahashi(Nihon University),Yoshinori Yoshida(Gifu University),

Toshihiko Kuwabara(Tokyo University of Agriculture and Technology)

Contact: Toshihiko Kuwabara(Tokyo University of Agriculture and Technology),

E-mail:kuwabara@cc.tuat.ac.jp

The 14th International Session is organized in the Japanese 69th Joint Conference on Technology of Plasticity at Kumamoto. The official language in this session is English. Any presentations relating to technology of plasticity are welcome. This session may be divided into sub-sessions, e. g., bulk forming, sheet forming, etc. Talks given by overseas researchers/students in Japan as well as researchers/students visiting from all over the world, especially from KSTP and CSTP, are welcome. Japanese

domestic researchers/students could give English presentations in this session. A two-page abstract in English is required as normal session presentations.

「第14回 インターナショナルセッション2018」

オーガナイザー：高橋進（日本大）、吉田佳典（岐阜大）、桑原利彦（農工大）

問合せ先：桑原利彦（農工大）、E-mail: kuwabara@cc.tuat.ac.jp

第69回塑性加工連合講演会に第14回インターナショナルセッションを設置します。このセッションに限り公用語は、英語ですが、塑性加工に関するものである限り、いかなる発表も受け付けます。海外から来日中の研究者・留学生および海外からの研究者や学生が発表する場として好適です。また日本人研究者や学生も英語で発表を行うことができます。他のテーマセッション・一般講演と同様の2ページの概要（ただし英文）が必要となります。

「優秀論文講演奨励賞」について

講演会運営委員会では、塑性加工講演会の活性化と優秀な若手会員の活躍を期待して、新進の研究者・技術者の優秀な論文講演を表彰しております。本賞審査の対象となる方は、**講演発表時に満35才以下の会員**です。35歳以下の講演者で審査を希望される方は、申込時に希望の有無および年齢を選択してください。受賞件数は、分野を偏らないように配慮して、10件程度とします。ただし、過去に本賞の受賞歴のある方は受賞後2年間は欠格期間となります。審査は、座長を含む審査委員による論文内容、発表方法、質疑応答に基づいて、総合的に評価します。優秀論文講演奨励賞の受賞者名及び講演論文名等は、会報誌「ぷらすとす」にて公表するとともに、賞状と副賞を贈り顕彰します。